

会 議 録

会議名	平成30年度 第4回印西市子ども・子育て会議
開催日時	平成31年3月27日(水) 午後2時00分から午後3時00分まで
開催場所	印西市役所附属棟2階24・25会議室
出席委員	西村 信会長、加島 朋子委員、島浦 美智子委員、古賀 一人委員、岩井 基委員 塩田 幸子委員、片岡 一郎委員、杉山 充子委員 計 8名
欠席委員	横田 藍委員、小谷 博子委員、塚田 昌幸委員、小林 すみ子委員 計 4名
出席職員等	[健康福祉部] 部長 伊藤 哲之 [事務局] 保育課 田口 光浩、大菅 孝幸、鈴木 正子、菅谷 幸司 [関係課] 子育て支援課 高橋 幸江、海老原 勝人、木村 裕子 学務課 根本 明芳 生涯学習課 関口 節子 [株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所] 竹澤 慎太郎、山下 淳也
傍聴者	1名
会議次第 議 題	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 協 議 等 (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の調査結果報告【資料1】 (2) その他 4. そ の 他 5. 閉 会
配布資料	・平成30年度 第4回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1】子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果報告書

会議概要・審議経過

1 開 会

健康福祉部長からのあいさつ

2 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

3 協議等

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の調査結果報告

○事務局より説明

○質疑

【委 員】 アンケートでは、1世帯当たりの子どもの人数は調査項目に入れてなかったのか。
【事務局】 アンケートの調査項目にはなっていない。今後、人口、世帯、1世帯当たりの人口等は、統計データとしてお示しする。

【委 員】 今後、具体的な事業は出てくるのか。
【事務局】 今回の事業計画では、見込み量だけではなく、具体的な施策や事業についても、記載していく予定である。

【委 員】 少数派の意見は、どのように汲み上げ、事業等に反映するのか。
【事務局】 アンケートは、方向性を検討する上でのデータになるので、多数派の意見が中心になるが、少数派の意見については、自由記述や施設などのヒアリングで把握することになる。

【委 員】 少数派の意見も大切にしたい。
【事務局】 少数派の意見についても、どこまで反映できるかは別として、きめ細かい支援の観点から、把握する必要がある。

【委 員】 アンケート調査の後、聞き取りをするのが効果的と考えるが、ヒアリングの予定はどのようになっているか。
【事務局】 4月～6月ぐらいに、関係団体の方に集まって頂き、ヒアリングを予定している。個人のヒアリングの予定はない。

【委 員】 公立幼稚園の保護者の大多数が預かり保育について何年も前から要望してきたが、実現していない。公立幼稚園のアピールポイントは、安さであるが、無償化になった場合はどのようにしていくのか、具体的なプランがあれば教えてほしい。

【事務局】 預かり保育については検討しているが、今後、公立幼稚園のあり方について、保護者の方々の意見を聞きながら、具体的なプランを作成する予定である。

- 【委員】 私立幼稚園では、預かり保育を推進している。
- 【委員】 幼稚園の無償化で私立に流れていく人が増えている。公立幼稚園は引き留めようとしていないと感じる。公立幼稚園の保護者も働いている人が多いので、預かり保育を必要としている。
- 【事務局】 今後、アンケート調査や本日の要望などを踏まえ、施策・事業をできるかどうか、どのように反映するかを各課と検討し、計画に反映するので、その時、再度協議が可能となる。
- 【委員】 アンケートの自由記述には、具体的な意見があるので、意見の内容がわかるようにして欲しい。
- 【事務局】 自由記述については、アンケートの最終報告で、主な意見がわかるようにする。
- 【委員】 子ども・子育て事業計画では、保育園、幼稚園、学童保育が中心となっているが、産前・産後も子育てでは重要であるので、事業等をどのようにしていくのか明確にして欲しい。
- 【事務局】 アンケート等では、国の事業計画の見込み量などの算出データが主になっているが、今回の計画では、アンケート調査結果のP. 36にある事業等についても、担当課に確認しながら、どのようにするかを記載する予定である。母子手帳などは、健康増進課が所管であるが、来年度からは健康子ども部として健康増進課の職員が会議に出席する。また、子どもの障がい関係については同様に障がい福祉課または子ども発達センターの職員に出席してもらうことで、より会議で検討できる体制にする。
- 【委員】 回収率が向上していることは、関心が高まりよい方向となっているので、必要なサービスが提供できるようにする。

(2) その他

○質疑

- 【委員】 国では、外国人労働者の受け入れや児童虐待などが議論されている。当面の課題として、外国の子どもたちの受け入れのフォロー体制は、早急に整備する必要がある。
- 【委員】 無償化になると外国の子どもたちも入ってくるので、対応の検討は必要である。

4 その他

○事務局より連絡事項等

- ・事務局が保育課から子育て支援課に移ることなどについて
- ・次回会議予定について

5 閉会

平成30年度第4回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

平成31年 4月25日

子ども・子育て会議委員

片岡 一郎

子ども・子育て会議委員

杉山 亮子